

令和7年度 二本松市立渋川小学校 学校経営・運営ビジョン



教育目標

「心豊かで、たくましく生きる児童の育成」
 ～ よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 ～
 【知】 自ら学ぶ子どもを育てる
 【徳】 認め合い、高め合う子どもを育てる
 【体】 自ら健康を育む子どもを育てる

【学校評価】

- 自己評価（児童、保護者、教師）
- 学校関係者評価（学校運営協議会）
- ☞ 結果の報告・公表（保護者、市教委、HP）

福島県・二本松市の教育施策

- 第7次福島県総合教育計画
- 二本松市教育振興基本計画
- 二本松市教育委員会教育施策

学校経営の基本方針

- 1 自己・自校・地域への誇りがもてる学校づくり
- 2 発達段階に応じた学びの連続性の充実
- 3 つなぐ支援によるインクルーシブ教育の充実
- 4 体力・運動能力の向上と自己の健康及び危機管理能力の育成
- 5 教職研修の充実
- 6 保護者・地域への積極的・意図的な情報公開

めざす学校の姿 / 「子どもが主役の楽しい学校」(わくわく 楽しい 幸せいっぱい渋川小)

- ◎ 環境・安全教育を中心とした、渋川小ならではの「未来創造教育」を進める
 - 子ども達一人一人が自己肯定感を強くもち、活躍できる楽しい学校づくりを進める。
 - 渋川小学校で学ぶことのよさや楽しさを子どもや保護者、地域住民、教職員が実感できる学校づくりを進める。
 - ふるさと「渋川」に誇りをもち、子ども達が将来、持続可能な社会の主体的な担い手となるように進める。

【積極的・意図的な情報発信・受信】

学校ホームページ、学校だより、学級だより、ほけんだより
 連絡メール、連絡帳、電話、面談 等

連携・協働

【幼保小中、家庭や地域、専門機関との連携】

- ・生活習慣の確立
- ・家庭学習、家読、食事、メディアコントロール等

【学び合い、高め合う力】の育成

- 1 授業改善（「わかる」「できる」授業づくり）
 - 学習規律（渋川小スタンダード）の徹底
 - 深い教材研究・分析と質の高い授業実践
 - まとめ・振り返りの徹底（タイムマネジメント、場、内容）
- 2 家庭学習の充実
 - 授業と家庭学習との連動
 - 自己マネジメント力（PDCA）を高める家庭学習
- 3 読書活動の充実
 - 読書の日常化
 - 魅力ある読書活動の推進



【認め合い、高め合う心】の育成

- 1 互いに認め合う学級づくり
 - 一人一人の違いを理解し、互いに認め合い、関わり合う学級づくり（温かい仲間意識の醸成）
 - 「楽しい学校」づくりに主体的に取り組める環境づくり
 - 自分で判断し、勇気をもって行動する力の育成
- 2 「渋川を生きる」教育活動の充実
 - 「渋川らしさ」を生かした「渋川のひと・もの・こと」との豊かな関わり
 - 体験活動を通じた情操の育成
- 3 生徒指導の充実
 - あらゆる機会を生かした全教職員による組織的指導
 - 人権教育に基づく、いじめ防止に向けた指導の徹底

【鍛え合い、高め合う態度】の育成

- 1 健康・安全教育の充実
 - 自ら危険を回避する能力の育成（防災、放射線教育、日常の安全指導 等）
 - 家庭と連携した食育・メディアコントロールの充実
 - 個に応じた健康指導の実施（肥満、視力、う歯、食育 等）
- 2 体力・運動能力の育成
 - 教科体育の充実（運動身体づくりプログラムの確実な実施）
 - 教科外体育（運動の日常化）の推進と自発運動の習慣化
- 3 望ましい生活習慣の確立
 - 家庭との連携強化、家庭の健康マネジメント力の育成



【教育課題 / 「学び合い、高め合う力」】

- △ すべての子どもを大切に質の高い学びの実現
- △ 知的好奇心の醸成と学びに向かう態度・力の育成
- △ 家庭学習・読書活動の習慣化と充実

【教育課題 / 「認め合い、高め合う心」】

- △ 互いのよさや個性を認め合う心の育成
- △ 道徳的実践力の向上

【教育課題 / 「鍛え合い、高め合う態度」】

- △ 安全・危険回避能力の向上
- △ 運動の日常化（体力向上、自己の健康管理）
- △ 望ましい生活習慣の育成

子どもが中心・子どもが主役

学校

子ども

保護者

地域



渋川小の子ども達のよさ・渋川のよさ

- 学習の大切さを理解し、授業や家庭学習に集中して取り組む。
- 素直で優しく、仲良し。
- 保護者、地域の理解・協力体制が整っている。

具体的な取組の視点

渋川小のよさと課題